

群馬県民会館 大規模改修で想定していた改修内容について

群馬県民会館の改修費

約30億円の大規模改修では多くの積み残し箇所を残しており、施設を維持するためには今後10年で50億を超える改修費が必要。

今後10年で**50億円以上**の改修費が必要

(約52億円)

+ 約8億
(物価高等)

積み残し改修
約14億

大規模改修
約30億

R1試算であるため、物価高騰の影響をデフレーター等(※)で簡易的に試算。
実際はさらに上振れする可能性が高い。

大規模改修は改修が必要な箇所の一部。
約14億円の積み残し改修箇所が存在。

- ▶ R元年度試算の主な内容
- エレベーター等の機械設備の更新
- 電気設備の更新、外壁の改修
- 舞台照明の更新 ほか

▶ R元年度試算 (約30億円) の主な内容

- ① 安全性の確保 (8.9億)
耐震補強、吊り天井の解消
- ② 長寿命化 (17.5億)
防水機能回復や設備更新等の基本性能維持工事、舞台機構改修等のホール基本性能維持工事
- ③ 利便性・快適性の維持・向上 (2.9億)
座席見直し・音響改善等の鑑賞環境の改善
トイレ洋式化等のバリアフリー推進

※国土交通省公表 (R6.5.31) 建設工事費
デフレーター等 (1.183倍) を活用し算出

R1実施設計に基づいて改修が必要な箇所

大規模改修 : R1実施設計に基づく大規模改修の内容

積み残し改修 : 大規模改修の対象からは外れているが、速やかに対応が必要な箇所

項 目	大規模改修	積み残し改修
1. 安全性の確保	889百万円	—
2. 機能の維持（長寿命化）	1,750百万円	1,400百万円
3. 利便性・快適性の向上	293百万円	—
工事監理費	77百万円	—
合 計	3,009百万円	1,400百万円

※上記金額はR1試算であり、物価高騰の影響や更なる老朽化の影響を考えると、改修費は大きく上振れする可能性が高い。

1. 安全性の確保（大規模改修：889百万円）

項目	大規模改修	主な内訳	積み残し改修
①耐震補強	躯体の補強	Is値が低い4階・1階を中心に補強（Is値0.75に）	—
	特定天井落下の危険性の解消	・大・小ホール、エントランスホールの特定天井を改修	—
②法令への適合	避難性能の向上	・コンクリートブロック壁の補強・撤去 ・客席更新・座席数見直し・通路幅拡張 大ホール：1,997席 → 1,818席（▲179） 小ホール： 499席 → 494席（▲5） ※建築基準法、消防法に適合	—
	アスベスト処理	レベル1：エントランス・小ホールホワイエ天井 レベル2：煙突	—



大ホール



小ホール

2. 機能の維持 (大規模改修：1,750百万円＋積み残し改修：1,400百万円)

項目	大規模改修	主な内訳	積み残し改修
①集客施設性能の維持	防水機能の回復 給排水設備の更新	<ul style="list-style-type: none"> ・屋根防水改修 ・雨水配管全更新 ・上下水配管更新 (一部) 	<ul style="list-style-type: none"> ・上下水配管更新 (残り)
	電気・空調設備の改修	<ul style="list-style-type: none"> ・分電盤 (S46設置) 更新 ・火災報知設備更新 ・照明LED化 ・冷温水発生機 (熱源) 更新 ※ 3台 → 改修後 2台 ・大,小ホール空調等更新 ・パッケージ型空調機新設 (会議室) 	<ul style="list-style-type: none"> ・受変電設備更新 ・蓄発電設備更新 ・冷却塔更新 ・機械室、多目的室等の空調更新
	その他修繕	<ul style="list-style-type: none"> ・会議室、多目的室等の内装改修 ・緞帳修繕、クリーニング ・熱源機械室を厨房に移設 ・熱源機械室跡をリハーサル室に改修 	<ul style="list-style-type: none"> ・エレベーター更新 ・外壁修繕 ・その他附随設備修繕



楽屋雨漏り (屋根防水機能劣化)



ホワイエ雨漏り (雨水配管劣化)



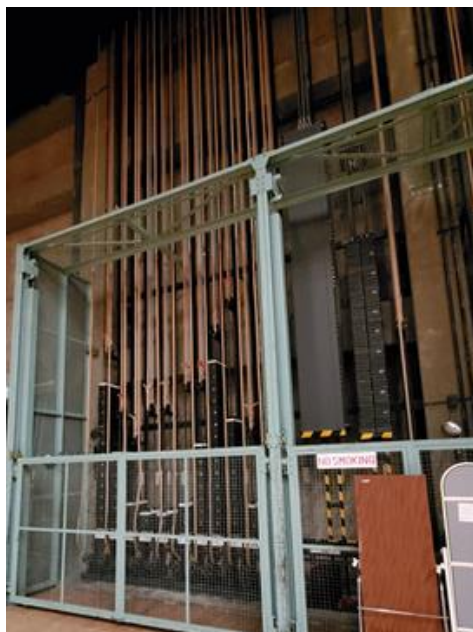
冷温水発生機 (熱源)



受変電・蓄発電設備

2. 機能の維持 (大規模改修：1,750百万円＋積み残し改修：1,400百万円)

項目	大規模改修	主な内訳	積み残し改修
②ホール性能の維持	舞台設備の改修	<ul style="list-style-type: none"> ・ 吊り物、設備躯体部、制御盤更新 ・ 音響調整卓,スピーカー改造・更新 ・ ワイヤレスマイク,吊りマイク更新 ・ 照明LED化 ・ 調光操作卓,調光器盤改造・更新 ・ 天井、側面反射板 再塗装 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 吊り物設備 (電動機駆動部・制御部) の修繕 ・ 音響調整卓の更新 ・ スピーカー更新 (大ホール) ・ 調光操作卓,調光器盤更新
	遮音性能の回復	<ul style="list-style-type: none"> ・ 防音扉の修繕 (音漏れ対策) ・ 吸音天井の改修 (小ホール) 	—



大ホール吊り物



音響操作卓



調光操作卓



調光器盤

3. 利便性・快適性の向上（大規模改修：293百万円）

項目	大規模改修	主な内訳	積み残し改修
①鑑賞環境の改善	鑑賞スペース・音響の改善	<ul style="list-style-type: none"> ・ 座席間引きによりスペース拡大 ・ 床面の嵩上げにより舞台見通し改善 ・ 天井改修による気積の拡大 ・ 天井反射板の設置 ・ 舞台音響反射板の角度調整(隙間塞ぎ) 	—
	大ホール段床化	<ul style="list-style-type: none"> ・ 段床化により舞台見通し改善 	—
②バリアフリー推進	車イス席の増設	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大ホール：3席 → 6席 (+3) ・ 小ホール：0席 → 3席 (+3) ※スロープの新設、緩傾斜化 	—
	トイレの洋式化	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全便器洋式化（便器数は維持） ・ 1階トイレなどの段差解消 	—

項目	内容
① 駐車場	現状、枠内駐車：278台、詰込駐車：420台 駐車場が足りず、周辺の有料駐車場を使わざるを得ないことがある。
② バリアフリー	1階大ホールトイレは段差が解消されるものの、建物の構造上、段差が解消されない箇所が多く残る。
③ トイレの数	イベント時、大ホール開場前に使用できるトイレが多目的室のトイレ（段差あり）のみで、2,000人規模のホールとしては数が不足。
④ ホールの音響	大規模改修で一部音響改善がされるものの、専門ホールのような音響は見込めない。
⑤ 食堂	1階食堂は特に改修されず、空室のまま